

組織現勢 (9月1日現在)	
組合員数	19,657人
出資口数	90,686口
8月の新規加入	15人
8月の増資口数	197口

No. 375 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座(普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

3年連続の目標達成を 秋の仲間ふやし月間スタート 10月1日～12月27日

2014年度 月間目標
 仲間ふやし 630人 (年間目標の90%)
 大腸がん検査 450人
 増資 100人以上の方に
 コムコム 10部 / いつでも元気 30部

大腸がんは、日本では女性のがんによる死亡原因の1位、男性では3位です。早期発見により適切な治療を行えば治せる病気で、非常に検診が有効です。大腸がん検査キットは、1つ1000円です。容器に便を少量取り、問診票と容器を郵送することで検査を受けることができます。詳しくは生協本部または医療機関へお尋ねください。

今年もいよいよ仲間ふやし月間ははじまりました。昨年は2年連続で年間目標700人を超え達成できました。3年連続の目標を達成するため、積極的に取り組んでいきたいと思います。

大腸がん検査 450人
 全国の医療福祉生協をつなぐ情報誌です(毎月20日発行、定価410円)。医療・保健・福祉情勢を中心とした情報や健康づくり・まちづくりをすすめる全国の医療福祉生協の取り組みが紹介されています。また、病気の予防になる料理レシピ、映画・音楽情報など楽しい記事もいっぱいあります。



『COM COM』購読10部
 被災地で健康とつながりをつくる
 地域購買生協との協同ですめる給食・配食事業
 一監・強・食・住の充実をめざして

いつでも元気 購読30部
 全日本民医連の情報誌です(毎月1日発行、定価300円)。医療や介護の情報はもちろん、子育て・地域のくらし・旅の情報・平和・社会保障など、私たちの暮らしに役立つ内容が満載です。



地域の方々が集まってくれました

8月23日(土)の夕方4時～6時、移転新築1周年の記念イベント「パーティーが診療所の駐車場で」行われ、64人が参加しました。

元建設委員会実行委員長長の秋田穂雄氏の開会挨拶、元実行委員で現豊町4丁目町会長の唐澤英行氏の乾杯の後、10月5日投票の品川区長選・区議補選の候補者や白石民男都議の話、三ツ木診療所事務の阿部惟士さんの原水禁世界大会広島参加報告、職員からの職場報告、ゆたかの家のくし引き、全員コーラスなど、盛りだくさんの内容でした。当日の運営に当

**地域のみなさんに支えられて
 ゆたか診療所新築1周年**
 た。昼からの雨も上がり、残暑のどよめきを覚えました。

挨拶する権守所長



職員一同、これからも地域に根ざして

「新築効果」のためかどうかはまだ不明ですが、ゆたか診療所の移転後1年間は、外来は前年比101.8%、区民健診110.7%で、とくに新患数の伸び118.4%が顕著です。

ヘルパー養成講座【東京都介護職員初任者研修】受講生募集中

- 研修日程
 第3期：12月1日～2015年1月26日
 第4期：2015年2月2日～3月23日
 各期とも月・水・金・土の9時～17時 (一部19時までの日程があります)
 - 受講料 67,000円【テキスト代・税込み】
 分割納入制度、就職時受講料返金制度あり
 - 各期募集人数 20名 (定員になり次第メ切)
 - 受講資格 都内在住・在勤の方
 - 研修会場 大田区大森東4-3-3 大森コーポ301号室 (大田病院となり)
- お申し込み・お問い合わせは 生協本部＝野口まで (3762-0266)

日本を再び戦争のできる国へ導こうとする勢力の動きが日増しに強まっています。その勢力は過去の日本の戦争の過ちを否定することで、戦争のできる国への道を、いま力づくで推し進めています。そのひとつが従軍慰安婦問題です。主に朝鮮人女性に言い尽くせぬ痛手を与えたことは歴史の真実です。かつては日本政府も「河野談話」が示したように、そのことを認めていました。日本の裁判所も元慰安婦の提起した訴訟をことごとく認定しています。▼従軍慰安婦のことはかつては、日本の戦史を検証するグラフにも、当時の写真と共に掲載されました。戦後の日本の世相を描いた「肉体の門」を代表作とする作家の田村泰次郎は中国に從軍。当時、一兵卒として軍の命令で朝鮮人女性を中国大陸の前線へ引率してゆきます。そして部隊に到着すると自分も他の兵士と共に、慰安所の前の長い列に加わるといふ苦い経験を作品にしています。田村泰次郎の作品、そしてグラフ雑誌に示された日本の過去の真実を否定する勢力は、狂信的なあるいは職業とする一部を除けば存在しなかったのです。▼歴代の日本政権はかつての戦争を問われたとき「将来の歴史家がそれを判定する」と言い逃れを続けてきました。でもさすがに日本の過去を否定しきれずに責任の先延ばしに腐心してきました。しかし、いまの内閣の顔ぶれは否定ばかりが目立ちます。日本を戦争のできる国へ逆行させるようとする勢力ばかりです。それはやがて日本の亡国を招きます。

腹八分
 日本を再び戦争のできる国へ導こうとする勢力の動きが日増しに強まっています。その勢力は過去の日本の戦争の過ちを否定することで、戦争のできる国への道を、いま力づくで推し進めています。そのひとつが従軍慰安婦問題です。主に朝鮮人女性に言い尽くせぬ痛手を与えたことは歴史の真実です。かつては日本政府も「河野談話」が示したように、そのことを認めていました。日本の裁判所も元慰安婦の提起した訴訟をことごとく認定しています。▼従軍慰安婦のことはかつては、日本の戦史を検証するグラフにも、当時の写真と共に掲載されました。戦後の日本の世相を描いた「肉体の門」を代表作とする作家の田村泰次郎は中国に從軍。当時、一兵卒として軍の命令で朝鮮人女性を中国大陸の前線へ引率してゆきます。そして部隊に到着すると自分も他の兵士と共に、慰安所の前の長い列に加わるといふ苦い経験を作品にしています。田村泰次郎の作品、そしてグラフ雑誌に示された日本の過去の真実を否定する勢力は、狂信的なあるいは職業とする一部を除けば存在しなかったのです。▼歴代の日本政権はかつての戦争を問われたとき「将来の歴史家がそれを判定する」と言い逃れを続けてきました。でもさすがに日本の過去を否定しきれずに責任の先延ばしに腐心してきました。しかし、いまの内閣の顔ぶれは否定ばかりが目立ちます。日本を戦争のできる国へ逆行させるようとする勢力ばかりです。それはやがて日本の亡国を招きます。